

# 阪急バス（株）へ市民要望を届け、 実施を要請、懇談しました



能勢電鉄へも要請活動を予定しています。

## 要請項目

1. 低床バス、ノンステップバスを増やすこと
2. 乗継料金制を行うこと
3. 昼及び夜間の増便、終バス延長を行うこと
4. 松が丘周回バスの増便
5. けやき坂4丁目付近へ新たなバス停設置
6. 平野駅からグリーンハイツ内のバス料金は、大和団地巡回バス料金と同じくすること
7. 料金を引き下げること

「実現する」という明快な回答は得られませんでした。市民・利用者の思いを伝え、高齢化する中で、公共交通が地域にとって必要であり、利用者の利便性を図るよう申し入れました。

## 個人消費 18.7% 落ち込み

4～6月期、年率換算で

国民総生産は年率 **6.8%**

4～6月期の実質国民総生産速報値 (%)

実質成長率	▲1.7	年率	▲6.8
名目成長率	▲0.1	年率	▲0.4
寄与度	内需▲2.8	外需	1.1

主要項目	増加率	寄与度
個人消費	▲5.0	▲3.1
住宅設備	▲10.3	▲0.3
公共投資	▲0.5	▲0.0
輸出	▲0.4	▲0.1
輸入	▲5.6	1.2

## アベノミクスの欺瞞

## 庶民の生活はそっちのけ

安倍政権によってもたらされた経済の落ち込みは、外圧によるといわれたリーマンショック時15.0%、山一証券破たんによる7.5%、震災時の落ち込みの次に来る大幅な悪化です。しかも政治主導のもとで引き起こったものであり、アベノミクスがもたらした結果でもあります。

庶民には大幅増税を行いながら法人税の減税、併せて復興税の廃止と、一握りの企業に特別の手当てをしています。

労働者の実質賃金は20年間下がりっぱなし、今期も1.8%の減でした。年金は下がり物価は上がるにより高齢者も生活が大変です。間違った政治を行う安倍政権は退場してもらいましょう。

### 日本共産党演説会

9月7日、日曜日  
午後2時30分開始  
アステビル  
6階アステホール  
住田も市政について  
お話しします

よし

くらしの

「由さん」の 便り

2014年 8月 335号

川西市議会議員(日本共産党)

住田由之輔 すみだよしのすけ

連絡先・下加茂 1-24-23

ケイタイ 090-9283-6739

市民への情報は住田のブログへ。「住田由之輔」で検索

# 川西市政について最近の話題から

## 新名神高速道路インターチェン

### ジ周辺土地利用計画の策定

8月4日、川西市都市計画審議会で、市長の諮問議案として出てまいりました。11月に3回目の会議を開き答申を出すという予定です。その間関係する自治会などへは説明するとのことです。

主な内容は、土地利用として「市街地調整区域」として残すものの、開発をしたい土地持ち主がいれば、地区計画を作成し、一定条件で開発を許可するというものです。

関係する土地面積の半分は3つのゴルフ場が占める地域であります。緑地を残してほしいという人にとっては開発に待ったをかけたいと思われる緑豊かな地域です。

## 市民へ説明ができないものは

### 政務活動費として支出しない

「豪涙県議」で一躍有名人になった、元兵庫県会議員。紹介される時必ず元川西市職員が出てきて、市民の皆さんにとっては不愉快の上ないものではなかったでしょうか。

その上に川西地域選出の県議員にも「政務活動費」としてふさわしくない支出があったとの報道がされています。

政務活動費の原資は税金です。まさに住民のための議員活動に資する使い方が求められており、川西市議会では、年間72万円一人当たり支出されますが、基本は会派に支給、会派で責任もって一円以上の支出には領収書を添付、領収書発行が困難な軽微の支出は、説明ができる資料を提出して領収書に替えるなど、市民から問い合わせがあれば全面公開で説明責任を果たすようになっています。

大切な税金は  
市民のくらしを豊かに  
するために使うべき

## 生涯学習センター機能移転

### と文化会館建て替え事業

8月1日から、アステ6階フロアで、ホールを含め、市が直接貸館業務を行うことになりました。

アステビル管理会社への救済措置で大きな税金を投入したことになります。

高齢者大学など、生涯学習センターで行っていた事業等を、6階フロアで行うことになり、併せて住民票の発行業務など休日を含めて実施することになりました。

今、公共施設の老朽化に伴って、移転、廃止、建て替え等が始っています。特に文化会館と福祉関係施設を併合した施設を100億円かけて中央北地区で新設する計画が進んでいます。

## 子ども子育て支援

### 新制度関係条例（案）

国が子育て支援について法律を決め、各地方行政で、それに準じて条例を作成するよう指導が行われています。

パブリックコメントが実施され134人の方が回答を寄せられているほど、子育て問題に保護者、保育園、幼稚園関係者も関心を寄せられています。

わが子はどのような環境で保育されるのか心配されるわけですが、川西市が示した条例案は国に準じる内容であり、どこよりも良い「川西の保育水準」で条例化すべきと日本共産党議員団は訴えています。